

「防災・減災シンポジウム」を開催します！！

～今、災害に強いしなやかな社会づくりを考える～

北海道開発局では、『日本海溝・千島海溝巨大地震へいかに備えるか』や『自助・共助・公助の調和が取れた「災害に強くしなやかな社会づくり」への取組』を考える機会として、下記のとおり「防災・減災シンポジウム」を開催します。

記

- 1 日 時 令和5年12月7日（木）14：00～17：00
- 2 開催方法 会場及びWEBによるライブ配信
 - ・帯広会場：とかちプラザ2階 レインボーホール
（帯広市西4条南13丁目1）
 - ・広尾会場：広尾町コミュニティセンター2階 大ホール
（広尾町西3条7丁目）
 - ・豊頃会場：える夢館 視聴覚室
（豊頃町茂岩本町166番地）
 - ・WEB：Zoomウェビナー※広尾、豊頃会場では帯広会場での様子をリアルタイムで視聴できます。
※土木学会継続教育（CPD）の認定プログラムです。
- 3 内 容 別紙のとおり
- 4 定 員 帯広会場（150名）、広尾・豊頃会場（各30名）、WEB（200名）
- 5 参加申込 11月24日（金）までに別紙に記載のQRコードからお申し込みください

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

事業振興部 防災課 災害対策管理官 佐藤 茂一（内線 5954）

事業振興部 防災課 防災専門官 五十嵐 拓（内線 5911）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



～今、災害に強いしなやかな社会づくりを考える～

防災・減災シンポジウム

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震への備え

強く、しなやかなニッポンへ
強国
韌化土
NATIONAL RESILIENCE

つながろう！
防災・減災

2011年 東日本大震災／提供：(左) 広尾町、(右) 豊頃町

日時：2023年12月7日（木）
14:00～17:00

会場：●シンポジウム開催（開場：13:00）

帯広会場：とかちプラザ2階 レインボーホール

●オンライン視聴（開場：13:30）

広尾会場：広尾町コミュニティセンター2階大ホール

豊頃会場：える夢館 視聴覚室

●Zoomウェビナー：帯広会場よりライブ配信

第1部 情報提供 「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震について」

・内閣府政策統括官(防災担当)付 参事官(調査・企画担当)付
企画官 藤本雄介氏

「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震時に 発表される津波警報・注意報」

・札幌管区気象台気象防災部地震情報官 阿南恒明氏

事例紹介 「十勝地域の地震・津波対策の取組み」

・広尾町企画課企画防災係主査 柏崎有哉氏
・豊頃町総務課危機対策係長 木幡健太氏

第2部 講演 「命を守る」迫り来る日本海溝・千島海溝沿い巨大地震への対応

東京大学大学院情報学環 特任教授

日本災害情報学会 会長

片田敏孝氏

災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開され、特に防災教育については、地域防災と連携した育みの環境ととらえた活動を展開しています。また、地域防災については、地域の災害文化として、災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の地域での定着を図り、これら一連の活動が認められて、平成24年に防災の功労者として2つの内閣総理大臣表彰を受賞されています。

質疑応答 ＊会場及び、ライブ配信中の「Zoomのチャット機能」より、質問をお受けいたします。
進行時間の関係により、全てのご質問にお答え出来ない場合がございますので予めご了承願います。



本シンポジウムは、公益法人土木学会継続教育(CPD)の認定プログラムです。【JSCE23-1218 / 2.9単位】
土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。

参加無料・事前申込
会場&オンライン
同時開催

【締切】11月24日（金）

●帯広会場：150名

●広尾会場・豊頃会場：各30名

●Zoomウェビナー：200名

＊定員になり次第締め切らせて
いただきます。

参加方法



WEBフォームからお申込み下さい

-----【お問合せ】-----

防災・減災シンポジウム事務局

【(一社)北海道開発技術センター

担当：向井・天見・藤井】

011-738-3364

平日 9:00～17:00



主催：国土交通省北海道開発局 共催：広尾町、豊頃町
後援：札幌管区気象台、認定NPO法人ほっかいどう学推進フォーラム

～今、災害に強いしなやかな社会づくりを考える～
防災・減災シンポジウム
日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震への備え

北海道の暮らしは、美しく豊かな自然に恵まれる一方、自然災害とも隣合わせにあります。本シンポジウムでは、切迫する日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に備え、自助・共助・公助の調和がとれた「災害に強いしなやかな社会づくり」に取り組むか、みなさんと一緒に日頃からできることを考えます。

プログラム

- 14:00～開 会**
・主催者挨拶 北海道開発局 事業振興部 調整官 林恵裕
- 14:05～第1部 情報提供・事例紹介**
●**情報提供**
日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震について
・内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（調査・企画担当）付 企画官 藤本雄介氏
日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震時に発表される津波警報・注意報
・札幌管区気象台気象防災部地震情報官 阿南恒明氏
●**事例紹介**
十勝地域の地震・津波対策の取組み
・広尾町企画課企画防災係主査 柏崎有哉氏
・豊頃町総務課危機対策係長 木幡健太氏
- 15:00～質疑応答**
－休憩 10分－
- 15:20～第2部 講演**
「命を守る」迫り来る日本海溝・千島海溝沿い巨大地震への対応
東京大学大学院情報学環 特任教授
日本災害情報学会 会長 片田敏孝氏
- 16:50～質疑応答**
17:00 閉会

会場

- シンポジウム開催**
帯広会場:とかちプラザ2階 レインボーホール(定員150名)
帯広市西4条南13丁目1/JR帯広駅南口から徒歩2分
※駐車スペースが80台と限られています。
公共交通や乗り合わせでの来場にご協力ください。
- オンライン視聴**
広尾会場:広尾町コミュニティセンター 2階大ホール(定員30名)
広尾町西3条7丁目
豊頃会場:える夢館 視聴覚室(定員30名)
豊頃町茂岩本町166番地
※広尾、豊頃会場では、帯広会場での様子をリアルタイムで視聴できます。
- Zoomウェビナー**
・お申込いただいた方へ、視聴用のアドレスをお送りします。
・当日は、申込時の氏名・メールアドレスでご参加下さい。
【注意】申込と異なる場合、CPD認定ができません。
※オンライン参加でのCPD登録は、受講して得られた所見(学びや気付き)を100文字以上提出いただきます。
- ★**質疑応答**:
ライブ配信中「Zoomウェビナー」のチャット機能よりお受けいたします。
※進行時間の関係により、全てのご質問にお答え出来ない場合がございますので予めご了承願います。

♪大切な人へ シンポジウムをもう一度♪
後日、12月7日のシンポジウムの様子を再配信します。「ウェビナー再配信(要申込)」「FM WING」、「FM JAGA」、「帯広シティケーブル」で配信しますので、ご希望の媒体でご視聴ください。

1 ウェビナー再配信(1月31日18:00より配信:※要申込)
12月7日に録画したシンポジウムを再配信します。視聴をご希望の方は、**事前申込**をお願いします。**1月30日迄に視聴用のアドレス**をお送りします。※CPD登録をご希望の方は申込時にお知らせください。

2 コミュニティFM (1月配信予定)

株式会社おびひろ市民ラジオ
76.1MHz
FM WING



株式会社エフエムおびひろ
77.8MHz
JAGA



3 帯広シティケーブル (1月配信予定)
OCTVチャンネル「コミチャン」



●放送日は、各ホームページでご確認ください

参加方法

申込締切
11月24日
(金)



★**QRコード及びURL** <https://sites.google.com/view/20231207-hkd-symposium/>
から申込フォームにアクセスし、登録をお願いします。
★**FAXでのお申込みをご希望の方は、以下を記載し(011-738-1889)へ送付下さい。**
※定員になり次第、締め切らせていただきます。
※CPD登録【2.9単位】を希望の方は、申し込み時にお知らせ下さい。

申込・お問合せ:防災・減災シンポジウム事務局 **011-738-3363 平日9:00～17:00**
【(一社)北海道開発技術センター 担当:向井・天見・藤井】

防災・減災シンポジウム 参加申込書 ※下表は直接入力可能です

①参加方法(帯広会場、広尾会場、豊頃会場、Zoomウェビナー、再配信のいずれかを記載)	②氏 名	③所属(団体、会社名)	④住所	⑤電話番号(必須)	⑥E-mail(オンライン希望の方は必須)	⑦CPD登録の有無

* 記載された個人情報は、受付整理や当シンポジウムに関する連絡のみに利用し、それ以外の目的には使用しません。